

始良市校区まちづくり事業

協議会名：柁城校区コミュニティ協議会
事業名：柁城の歴史・文化ふれあい事業

参加人数	約 680 名 (各種行事参加者総数)
------	------------------------

【事業の内容】

島津義弘公没後400年という節目の年に当り、「歴史と文化を語り継ぎ心豊かに学ぶ」というまちづくりプランの具現化を目指し次のような活動を推進する。
○歴史と文化に関する講演会の開催(講師:原口泉先生)
○子どもたちによる灯籠つくりと精矛神社六月灯へ献灯
○護国神社や精矛神社の美化作業(周辺住民との共同作業)
○柁城校区の地名のいわれや文化財・史跡等の資料集作成

①6月5日 運営委員会

今年度の始良市校区まちづくりの新規事業「柁城の歴史・文化ふれあい事業」の目的や活動内容等について説明・意見交換し共通理解を図った。



事業実施スケジュール	6/5	運営委員会
	6/8	自治会長会
	6/30	文化講演会〔原口泉先生〕
	7/6, 10/26	精矛神社周辺の美化作業
	7/7	灯籠つくり
	8/3, 12/15	護国神社周辺の美化作業
	8/17	精矛神社みたま祭り
	10月～12月	編集委員会開催と資料収集
	11月24日	文化祭～柁城の歴史・文化展示
	1月～2月	資料全体まとめと校正3回
2月20日	印刷・製本完成	



②6月8日 自治会長会 ↑

新規事業への取組みについて、その目的や活動内容を説明し協力を要請した。

③文化講演会〔講師:原口泉先生〕

於:加治木福祉センター〔6/30〕

福祉センターを会場にして原口泉先生を講師に招き「島津義弘公と加治木」と題して講演いただいた。大雨の日にもかかわらず川内・鹿児島・志布志など遠方からも来場者があるなど多くの方が先生の豊かな知識を基にしたユーモアあふれるお話に耳を傾けた。

島津義弘公没後400年という大きな節目の年にふさわしい講演会になった。

④精矛神社周辺の美化作業〔7/6, 10/26〕

周辺自治会の協力を得て多くの方が参加し、7月と10月の2回実施し大変きれいになった。作業を終えた後の参加者の表情はみんな充足感に溢れ、共生・協働のコミュニティ意識の高揚と「我が校区の文化・歴史施設」という意識も芽生え郷土愛の涵養にもつながっているように思われる。



⑤子どもたちによる灯ろうづくり風景とみたま祭り献灯の様子〔7/7, 8/17〕

義弘公の家老・曾木家子孫の曾木隆司様の義弘公に関する講話で義弘公について学習した後、灯ろうづくりに取り組んだ。六月灯が雨で中止になり8月17日の「みたま祭り」に献灯した。加治木工業高校とも連携して電子灯ろうを〔7月19日の南日本新聞でも報道された〕作っていただき会場の雰囲気盛り上げていた。このような校区コミュニティ協議会の一連の取組みに神社関係者も大変喜ばれ感謝されている。



⑥護国神社周辺の美化作業〔8/3, 12/15〕

義弘公ゆかりの仮屋馬場の中心地・護国神社や欄干橋等の史跡のある柁城の歴史・文化を象徴する区域をきれいにする事の意義を理解し多数の参加者があった。ここ数年周辺自治会のコミュニティ意識の高まりがこの活動の原動力になっているように思う。



歴史と文化の香る加治木柁城校区

7

⑦文化祭〔11/24〕

義弘公没後400年という節目の年にふさわしい展示を！・・・という考えの下に歴史ある柁城校区の各家庭に残るめずらしいもの「我が家の宝」を集めた展示コーナーを設けた。

明治16年に作られた酒寿司樽など文化財とも思えるような逸品も出品され意義ある取り組みとなった。



⑧文化財・史跡等説明資料集の刊行〔2/20〕

柁城校区には始良市の文化財等の約半数が存在し、歴史と文化の香りを醸し出している。それらを解説した分かりやすい資料集がほしいという多くの人の要望に応え、まちづくりプランに掲げた「歴史と文化を語り継ぎ心豊かに学び・・・」というスローガンの具現化のためにも編集委員会を組織し取組みを始め、七名が協働して作り上げた。



歴史資料編集委員会委員

委員長	今村 忠	柁城校区コミュニティ協議会長
副委員長	榎山 紀男	柁城校区コミュニティ協議会副会長
委員	小牧 一俊	柁コミュ協 文化・地域推進部会長
委員	森 正二郎	柁コミュ協 総務部会長
委員	日高 為之	柁城校区 城南地区連絡協議会長
委員	遠矢 節子	柁コミュ協 事務局長(代理)
委員	長谷川末寛	柁コミュ協 支援員